

# 第1学年 道徳学習指導案

- 1 主題名 真の友情 (内容項目2－(3))  
資料名 仮入部 (彩の国の道徳「自分をみつめて」)

## 2 主題設定の理由

### (1) ねらいとする価値について

中学生という世代は友達という存在に大きく影響を受ける時期である。学校生活の中で友達と過ごすことを楽しみにしていながら、友達との関係がうまくいかず、人間関係に悩むことも多い。入学当初は小学校時代の友達と共に行動する生徒が多いが、徐々に自分と合う友人を見つけていっているようである。そういう友達づくりの時期に、大きく関わってくるのが部活動選びである。

内容項目2－(3)は、いつも一緒にいることだけが友達ではなく、真の友達について考えさせる。自分にとって「一番やりたい部活動を選ぶ」ことの大切さは、十分に分かっている。しかし、新しい人間関係に入る時に不安を抱きつつ、部活動選びをする生徒もいる。中学1年生の生徒が不安に思ったことを、資料の中でもう一度感じさせたい。そのうえで、違う部活動を選んでも、認め励ましてくれる友こそ真の友であることを気付かせたい。また、新しい環境の中で新しい友達との出会いがあって、今まさに友達づくりをしてところであろう。目の前にいる友達を大切に、お互いを認め合って協力していこうとする気持ちを育てていきたい。

### (2) 生徒の実態

中学校に入学して5ヶ月が過ぎ、中学校生活に慣れたところである。6月には体育祭が行われて、協力することの大切さを感じるようになってきた。特に、全員で跳ぶ「長縄」では、他の人を非難しているとどんどん雰囲気が悪くなり、いい結果に結びついていけないことを体験した。7月には、学級の中で転出生徒のためにお別れ会を行った。その際には、班長が計画を立て、自分達で準備し実行することができた。集団としての力が少しずつ育ち、順調に中学生らしく成長してきている。

男女とも明るく、元気な生徒が多く、日頃の教科の授業では、挙手発表にも熱心に取り組んでいる。道徳の授業では、自分の意見をしっかり言うことを約束してきているが、まだそれほど多く授業を行っていないので、定着に至っていない。

### (3) 資料の活用について

資料は、中学校に入学してきて間もない時期に、部活動の選択について悩む内容である。小学校時代の友人も同じバスケット部に入部するだろうと思っていた雅恵。また、自分で考えソフト部を選択していく由美。仮入部の段階では、気持ちは揺れ動く。しかし、部活動は違って友達関係は変わらない、という由美の言葉にはっと気づかされる。いつでも同じことをすることだけが友達ではなく、違う部活を選んでもお互いを信頼するのが真の友達である。小学校時代の友達のあり方だけではなく、新しい友達付き合いに気付いていく。また、新しい環境で新しい友達を作っていくこともあろう。今までとは違う大人びた付き合い方を学んでいく中学1年生の生徒にとって、自分自身のこととして考えられる資料である。

## 3 研修テーマとの関わり

研修テーマ「確かな学力を育成する授業づくり ～学力向上の基盤としての道徳的実践力の育成～」をめざして、「規律ある態度」で行えるように努めている。教材の準備では道徳係が自主的に動いたり、最後の片付けでは班で協力して行えるようにしている。また「話し合う」場面を多くもち、生徒が話し合えるような発問の工夫を心がけている。授業の最後に

は「道徳ノート」に感じたことを書き、心の変容が分かるようにしている。学習後に貼り付けていき、学習の積み重ねをしている。自分の言葉で考え、文章にまとめることによって言語の力の育成を図っていきたい。

#### 4 他の教育活動との関連

##### ・行事との関連

6月の体育祭では、クラスで取り組む競技「長縄」「全員リレー」に向けて、朝や昼休みを用いて練習に励んできた。お互いを認め合っていくことがクラスのまとまりを作ることであり、友人関係がうまくいくことを感じてきた。

##### ・特別活動との関連

人間関係づくりのために「ライフスキル」の学習に取り組んでいる。7月に「開かれた会話」について考えさせた。

#### 5 本時の学習

##### (1) 本時のねらい

- ・友だちの大切さを理解して、心から信頼出来る友達をもち、互いにを励まし合い、高め合う態度を育む。
- ・友達と相談しながら、雅恵の気持ちの揺れ動きを考え、自分の言葉で発表しようとする。

##### (2) 展開

過程	学習活動と主な発問	期待される生徒の反応	指導上の留意点	時間
導入	1 学校生活の中で、楽しいこと、困ったことを挙げさせる。	○楽しいこと ・部活・友達と話すこと ・好きな授業 ○困ったこと ・テスト ・勉強 ・友達関係でもめたこと	・楽しいこと、困ったことにも友人関係が入ってくることに気づかせたい。	5分
展開	2 資料を範読する。  3 雅恵の気持ちを考えてみよう。  最初、由美から「ソフト部に行かない。」と誘われた時、雅恵はどちらの部活に入ろうかと思っただろうか。付箋紙に名前を書いて、黒板に貼ろう。  また、どんな気持ちだったろうか。隣の人と話してみよう。	○バスケット部…自分の心の中では決めていた。・小学校時代にもミニバスをやっていて、続けていきたい。  ○ソフト部…由美と一緒に部活動を選びたい。・友達がいないと寂しい。・仲良しの友達と一緒にだと楽しくなる。	※話合いが円滑におこなえるような座席（同性同士）にする。  ・どちらかに付箋紙を貼り、雅恵になったつもりで考えてみる。  ・黒板に、付箋紙が貼れるようなスペースを作る。	35分

	<p>隣の人と話し合ったことを、みんなに紹介してください。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・隣同士の話し合いが、うまく進められているかどうか、机間指導する。</li> </ul>	
	<p>4 雅恵はどうしてバスケット部をやめて、ソフト部に入部しようと迷っているのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○別々の部活になると、寂しくなる。</li> <li>○クラスでバスケット部は一人ぼっちだった。</li> <li>○バスケット部の1年は3人しかいなかった。</li> <li>○3人のうち2人は同じ小学校出身で自分一人のけ者のようなのである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隣同士の話し合いの後、生徒を指名する。</li> </ul>	
	<p>5 由美の後ろ姿を見つめていたときに、雅恵はどんなことに気付いたのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○そんなふうに分の事を考えてくれていたんだ。</li> <li>○由美は私がバスケット部を続けることを期待している。</li> <li>○部活が違っていても、友達関係は変わらないんだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ハンマーで頭を打たれた気持ち」について、考えさせる。</li> </ul>	
	<p>6 今日の授業について考えたことを書く。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳ノートに今日の授業で考えたことを文章に書く。</li> <li>・道徳ノートを台紙に貼り付け、授業の積み重ねを行う。</li> </ul>	
終末	<p>7 教師の話聞く。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達に支えられて、頑張ってきた卒業生の言葉などを紹介する、</li> </ul>	5分

### (3) 評価

#### ① 生徒の評価

- ・友だちの大切さを理解して心から信頼出来る友達をもち、互いにを励まし合い、高め合う気持ちがもてたか。
- ・友達と相談しながら、雅恵の気持ちを考えて深め合うことができたか。

#### ② 教師の評価

- ・友だちの大切さを理解して心から信頼出来る友達をもち、互いにを励まし合い、高め合う態度を育むことができたか。
- ・隣の友人と相談しながら、政恵の気持ちを考えさせることができたか。

#### (4) 事後指導

- ・ 学校生活の中で、お互いを認め合い助け合う場面を見て、努力や成長を認める声かけをする。
- ・ 11月の合唱祭に向けて、お互いを認めながら練習計画が実践できるように支援していく。